

PRESS RELEASE



報道機関 各位
(産学連携・地域連携・食・農業担当)

公立大学法人 宮城大学 大和キャンパス事務局
企画・入試課 企画・広報グループ（担当：山崎）
宮城県黒川郡大和町学苑1-1 TEL.022-377-8217

1/30 宮城大学太白キャンパスにて 「おむすびで知る 鳴子の米プロジェクト」を開催。 -「鳴子の米プロジェクト」から食と農・地域の未来を考える-

宮城大学は、大崎市との連携協定に基づき、2026年1月30日（金）に、宮城大学太白キャンパスにて学生向け勉強会「おむすびで知る 鳴子の米プロジェクト」を開催します。本勉強会では、大崎市鳴子温泉地域でCSA（地域支援型農業）による持続可能な農業・農村づくりを目指し、今年で活動20年目を迎える「鳴子の米プロジェクト」の取り組みを題材に、食と農、そして地域の未来について考える機会とすることを目的としています。近年、食料や農業をめぐる環境は大きく変化しており、生産者・消費者・地域がつながりながら持続可能な仕組みをつくることが、ますます重要になっています。本勉強会では、「ゆきむすび」のおむすびの試食を行いながら、食と農に関する課題を多角的な視座から捉え考えるとともに、農村と都市をつなぐ実践例を学び、今後の地域づくり・人材育成につなげていきます。



開催概要

日 時	2026年1月30日(金) 14:30~16:00
場 所	宮城大学太白キャンパス（仙台市太白区旗立2-2-1）研究棟1階ディスカバリーコモンズ
参加者	学生20名程度
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○講話1：「鳴子の米プロジェクトの取り組みについて」 <ul style="list-style-type: none"> ・大崎市 産業経済部 世界農業遺産推進監 /NPO 法人鳴子の米プロジェクト理事 安部祐輝 氏 ・農文協（農山漁村文化協会）中田めぐみ 氏（「うかたま」初代編集長） ○講話2：「食と農の未来を考える－里山の暮らし・景観・まちづくりの視点から－」 <ul style="list-style-type: none"> ・宮城大学 事業構想学群 平岡善浩 教授（建築設計・まちづくり） ○ディスカッション（40分） <ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッション（「ゆきむすび」のおむすびの試食を行いながら） ・全体でのまとめ・講評

本リリースに関するお問い合わせ先

宮城大学事務局企画・入試課 山崎（広報担当）／電話：022-377-8217 メール：kouhou@myu.ac.jp